

会員と千葉県連盟をつなぐ

# ちばニュース

2012年12月号



事故防止交流集会での、セルフレスキュー訓練



## 千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2012年12月1日発行 通巻236号(毎月1回発行)

**年末・年始は、仲間と一緒に**

**無事故で楽しい山行を！！**

## 目 次

|                     |    |
|---------------------|----|
| ・ 目次                | 1  |
| ・ 1 2 月号花博士の花だより    | 2  |
| ・ 1 1 月の支援活動報告      | 3  |
| ・ 石巻支援活動報告          | 5  |
| ・ 関東ブロック自然保護交流集会報告  | 7  |
| ・ 事故防止経験交流集会        | 8  |
| ・ 第 6 回ワンコイン報告      | 9  |
| ・ 第 2 8 回房総ロングハイク案内 | 10 |
| ・ 第 1 2 回郡界尾根縦走案内   | 11 |
| ・ 県連たより             | 12 |
| ・ 1 2 月・1 月         | 13 |

### 表 紙 説 明

2012 事故防止・経験交流集会における、セルフレスキュー講習会のスナップです。後姿からも真剣さが伝わってきます。  
恒例の行事になりました。多くの参加者をお待ちしています。

### ちばニュース編集部会よりのお願い

ちばニュースは、機関紙委員会「ちばニュース編集部会」が担当しています。  
しかし、現状は編集委員 1 名でやりくりしています。

発行の手順を簡単に説明します。

- ・ 原稿締切り・・・毎月 20 日です。
- ・ 送り先・・・現在は、広木まで送付ください。[danphiro@zpost.plala.or.jp](mailto:danphiro@zpost.plala.or.jp)  
本来は・・・「機関紙委員会」ですが、委員が一人（広木）のため。
- ・ 発行日・・・毎月 1 日（努力目標です）
- ・ 表紙写真・・・2013 年 4 月号からは、各会の紹介と会山行・個人山行を予定しています。ご協力をお願いします。  
詳細と順番は 2 月号でお知らせします。ご意見、アイデアをお寄せください。[danphiro@zpost.plala.or.jp](mailto:danphiro@zpost.plala.or.jp)

## 花博士の花便り

中原 紀代治 (ふわくハイキングサークル)

11月に入り菊花まつりが開催されています、8日に市原の国分寺尼寺の菊を見てきました。飼育された大きな大輪の花も綺麗ですが、この時期に咲く野菊が好きです。

9月頃から、カントウヨメナ・ユガギク・ノコンギク・シラヤマギク、などが咲いています。さらにヤマシロギク・キヨスミギクは10月から咲きます、見分けが難しく全て野菊で済ませたいです。リュノウギク(竜脳菊)は、最後に咲き葉に独特の香りがあり分り易いですが、シラヤマギク、ノコンギク、はシオン属、カントウヨメナ、ユガギクはヨメナ属と区別されますが何処が違うか良く分りません。伊藤左千夫の書いた小説“野菊の墓”の菊は、湿った処に咲くノコンギクのようです。

この時期に咲く、リンドウやセンブリの花を上総中野の近く、大塚山で見ました。リンドウ(竜胆)の、名前の由来は、竜の胆嚢は苦いイメージから、名づけられた様です。私の知るリンドウ科の花は、春に咲くフデリンドウ、コケリンドウ、ハルリンドウ、高山の夏山でトウヤクリンドウ、ミヤマリンドウ、タテヤマリンドウ、エゾリンドウ、オヤマリンドウ、秋の里山で花より実の綺麗なツルリンドウが有ります。

センブリ(千振)は“千回振り出してもまだ苦い”ことから胃薬として漢方には欠かせない薬草です。乾燥品は、薬草と見なされ販売は、薬事法の許可が必要です。違反者は、薬事法違反の処罰があります。最近、取り尽くされ珍しくなりました。アケボノソウも同じ仲間ですが、薬草としては、使われません。晩秋の草花です。



リンドウ



リュノウギク



センブリ

## 11月のボランティア報告

NPO ちば労山ゆう監事／平井 昭

今回は30名の参加者でレンタルバス1台(各会から20名)、マイカー3台(成田・ふわく)がボランティアを実施。

場所は牡鹿半島・谷川浜の漁業(養殖)の支援で、初日は4件、二日目は3件、三日目は2件の漁業支援に携わった。



仕事の内容は、ホヤの種付けに使用する牡蠣殻の一連の処理だったが、今回違う所は今までの牡蠣殻は一年以上、雨ざらしにされ牡蠣の殻自体に匂いの無い乾燥された殻を使用していたが、そのような牡蠣殻はすべて底を尽き、今回使用した物は、2～3週間に海から水揚げされ、むき身を取った後のまだホヤホヤの牡蠣ガラ(通常なら産業廃棄物)で、付着しているカラス貝と一緒に牡蠣の汁が腐敗して異様な匂いを発している殻の処理で、最初は吐き気を催して困りました。

ところが地元の人でも、その悪臭が酷いと感じる人と、当たり前の事としている人と有って対処の仕方がまるで違う。

匂いを酷いと感じるお宅では、悪臭を放つ牡蠣ガラの山を20～30の小山に牡蠣ガラを処理して、より空気と日光に曝して作業をし易くするようにしてあり、もう一軒の作業現場でも、前日気持ちが悪くなったのを、一緒に作業していた奥さんがご主人に話して、翌朝行った時には小分けの小山がいくつか出来て、作業しやすい環境に成っていた。地元の人には匂いはしても馴れと、余分な労力を掛ける分だけ効率よく仕事をする方が優先されるのだろう。

でもそれでいながら、ボランティアの人達の為にやり方を変えてくれ仕事がしやすいように図ってくれた事に感謝したい。

あくまでも自分達は都会に住んでいるので、地元の人暮らしは理解していない。

理解している積りでも生活の隅々まで理解は出来ない。



生理的な反応は応々にして仕方が無いと処理されがちだが、生活の立場の違いは都会に住む人が歩み寄る以外に無いしボランティアは率先して辛い苦しい作業を肩代わりして、というより少しでも彼らの為に成る事をしに行っているのではと思いたい。がお互いの意志の疎通がはかれれば、何よりの事だと思う。

三日目にまた同じ現場で午前中の2時間半を作業した時、一緒に作業している女性の一人が、『臭い臭いと云ったって都会から来ているからそんな風を感じるのよ。毎日ここで生活していたら臭く感じないのよ。マスクだってしているから、マスクに匂いが染みついて臭うのよ、マスクを外していれば臭わないわ』臭わない筈は無いのだけど、女性の逞しさを教えられました。

とはあれ、寒さの厳しい朝の作業はきついのも現実です。

特にこれからのボランティア作業に行く人は、防寒対策は万全にしてください。

今回2時間の仮眠で作業をして、夕食の手伝いをして食事に成った途端、食べられなくなり寝袋を被って3時間少々横に成り体調を少し回復する案配でした。参加する人は自己管理を徹底してください。参加する人の多くが中高年の部類ですので体力・気力の充実した方々も油断なさらぬようお願い申し上げます。

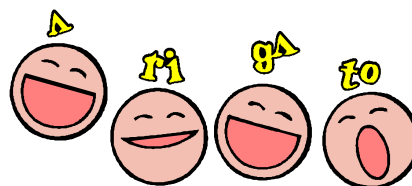
今回はマイクロバスの運転手をして頂いた岩本氏の小学5年生の双子の隼(はやと)・情(まこと)君と義父の神子氏が参加され、双子の両君とも三日目に熱を出し辛そうでしたが、作業中は嬉々としてやっている姿は、私達にも元気を与えてくれました。

又一泊目は水沼の構造改造センターに泊り、『石巻支援の夕べ』の出演者と最終打ち合わせをし、その後矢口さんの歌のリハーサルも兼ねて、一緒に泊まった兵庫県連の10人の労山のメンバー共々その夜は、矢口さんの歌で盛り上がった様子が、寝ている耳に、時折聞こえてきました。

二日目の夜は、渥美さんと馬場さんのお宅から牡蠣とムール貝とイカの差し入れが有り、バーベキューで大いに盛り上がりました。

当初22名がマイクロバスに乗る予定でしたが、風邪のため二名がリタイヤーして19名のマイクロバスの乗員が、船山の岩本氏の運転ボランティアにより楽に参加出来た事、又ふわくの畑中氏よりのお米一俵を頂きました事、大変有難うございました。

感謝致します。



## 石巻復興支援報告

かがりび山の会 山本 尚徳

11月23・24・25日に石巻市谷川浜地区で養殖ホヤの漁業支援に参加しました。



今回の支援先は初めて伺う渥美清盛さんの作業場は漁港の近くに有ります。

清盛さんご夫妻は震災当時には雑貨店を営んでいましたが震災当時を振り返りお話しをお聞きする事が出来ました。

谷川浜地区は原発の補助金により無線が各戸に設置されており3月11日の大地震の直後は確かに6mの津波警報があったそうです。

震災3日前の地震時に津波警報は20cm、チリ地震時には6m、震災時の津波警報は沖の6mの堤防を少し超える位いと経験的に判断していたそうです。

倒れた棚を直し店のシャッターを閉める時に港近くにある親戚の4tトラックが流されてきたのを目撃するにあたり驚愕したそうです。

近所のお年寄をせかし道の無い裏山へ引っ張り上げたので疲労困憊したそうです。夕方からは雪も降り始め山頂で寒さに震えながら夜を過ごし、翌朝に水と食料を求めて自宅に戻った時には家は流されて跡形なくなっていました。

50戸程あった集落は何もない砂浜となり残骸に変わり果てた我が家は竹藪に絡まっていました。運良く流されなかった1戸へ行こうにも瓦礫が行く先を阻み3時間も掛ってしまいました。幸いにも水と食料を分けて貰い皆が待つ山へ戻ると自衛隊のヘリコプターで既に救助されて誰も居ませんでした。

2日かけて寸断された道を迂回して避難先を探し廻ってやっと奥さんと再開し会社で被災に合った娘さんとも避難所で迎り着けました。

自動車会社を経営しているお兄さんの清正さん宅に2週間厄介になりその後は娘さんの会社のアパートに落ち着きました。避難所の生活ではプライバシーは有りませんが3食提供されて衣服、日用品等は潤沢に有ります。物流システムの相違でしょうか見做し仮設ではなにも支援物資の提供は無く全て自分たちで調達しなければならなかったそうです。

先代から雑貨屋を営んでおり奥さんが店番をして、ご主人はサラリーマンの傍ら持ち舟で趣味の漁をして知人へ御裾分けする穏やかな生活だったそうです。

谷川浜地区の現在は危険地区に指定されて住居建設は出来ません。

裏山を切り開き分譲地を30年借地と収入に応じて4万円位からの賃貸住宅を4億円かけて計画が進んでいますが戻って来る住人は30戸位ではないかと寂しく語っていました。人口の減少で雑貨店の再建を諦めて漁師に転向してご夫婦で一生健命にホヤ・若芽の養殖に励んでおられます。

今回の大地震は史上4番目の大エネルギーで谷川浜の潮位が一番高く24mに達し、第一波の引波と二波がぶつかり20mの壁が押し寄せて一波を乗り越えて、沖に出た漁船は助かりましたが遅れて二波に突入した舟はことごとく遭難したそうです。

頻繁の地震警報は慣れから警戒心に緩みも生じていたかもしれません。

着の身着のままで逃げ避難した人の多くは助かり、荷物を取りに戻り此処までは来ないだろうと思い家に居た人は避難が遅れて犠牲者が多く出てしまい悲劇が拡大した要因でもあったそうです。

国の再建は遅れが際立ち復興に格差が生じている様子です。

早期に自力で借金をして前向きに生活の建直しを実行している人には何も援助は無く、何もしないで支援を待っていると手厚い援助を享受できる変な現象が起きていると嘆いておられました。



## 第22回関東ブロック自然保護担当者交流集会 報告

千葉県自然保護委員長 菅井 修 ちば山の会

主催 日本勤労者山岳連盟関東ブロック協議会

主管 千葉県勤労者山岳連盟

開催場所 東京大学演習林 清澄宿泊施設

参加者 県外9名

(埼玉1、神奈川3、茨城2、東京1、栃木1、群馬0、全国委員1)

県内14名(県連役員3名、理事3名、自然保護委員4名、会員4名)

開催日時&日程

27日(土)

13:10 開会 全国自然保護委員長 浦添 嘉徳 氏 挨拶

千葉県勤労者山岳連盟会長 広木 国昭 氏 挨拶

13:10~14:20 「千葉県の哺乳類」 講師 浅田 正彦 氏

(千葉県環境生活部自然保護課 生物多様性センター)

**県内34種のうち12種が外来種。レッドデータに載る様な稀少種もいる。**

**イノシシ 鹿 猿 の食害 動物の外見と足跡等多岐に渡った内容**

14:20~15:20 「千葉演習林の植物と気候、生物について」

講師 久本 洋子 氏(東京大学千葉演習林助教)

演習林内の植物の分布生育調査および演習林での活動

15:20~15:55 「千葉県の自然保護運動(鬼泪山等)」

講師 佐々木 悠二 氏(鬼泪山を守る会)

**山砂採取計画に対する反対運動の取り組み 地質など具体的モデルを示しながら  
事実を元に科学的客観的に進めた事の紹介**

16:00~ 各県からの報告

埼玉 足尾春の植樹祭参加 クリーンハイク結果 東北支援 の報告

神奈川 丹沢クリーンハイク 丹沢水質検査報告

茨城 クリーンハイク報告 里山保全のための竹林の伐採(竹取物語)

東京 都連自然保護セミナー 渓谷の自然保護 魚道 外来生物 放射能調査

栃木 日光地域での鹿の食害 登山道の整備と念仏平避難小屋の管理

奥日光のこまくさ(人が植えたもの)をどう考えるか等

千葉 県連統一クリーンハイク報告 NPO法人 ちば労山ゆー の活動の紹介

18:00~ 夕食 懇親会

28日(日) 雨模様のため 妙見山の部分を食事前に実行

6:30~ 7:50 清澄寺周辺妙見山の植物の案内 中原紀代治氏

8:00~朝食後、 清澄浅間山案内 中原紀代治氏

房総の柔らかい地質と深い谷 演習林に指定する元となった急斜面に生えている原生林、明治以前の杉の植林値の実地見学

11:00 解散

雨もほとんど降らず、計画通り無事に終了することが出来ました。

千葉県の最南端まで、他県の参加者の皆様ありがとうございました。

また、いろいろとご協力をいただいた、地元の皆様ありがとうございました。



## 2012 事故防止・経験交流集会の報告

教育遭難対策委員会 岡田 賢一

去る11月10－11日、船橋県民の森「さざんかの家」にて、2012 事故防止・経験交流集会が開催されました。

「事故の再発防止」と「各会の交流」と「ハイキング層向けセルフレスキュー講習」を目的とするこの集会は 2009 年より始まり 4 回目の取り組みとなりました。

本年は13団体（＊）計52名の参加となりなした。各会での諸行事と重なった事等により、前年の101名よりは減少となりましたが有意義な集合になったと判断します。

＊岳樺クラブ まつど山翠会 千葉こまくさハイキングクラブ かがりび山の会 ふわくハイキングサークル 船橋勤労者山の会 ACT峰友 山の会らんとん 東葛山の会 ちば山の会 まつど遠足クラブ1年さくら組 シリウス山の会 茂原・道標山の会

今回の特徴の一つは全国連盟・女性委員会に協力を頂き、「登山寿命を延ばす為の筋トレ効果」の講演と実技を石田良枝氏の生き活きとした指導を基に実施出来た事に有ります。

講師の澁刺とした筋トレの実技指導に多くの会員が新たな刺激を受ける事が出来て、非常に有意義な集会になりました。

二日目は救助隊主催にて、前庭で「セルフレスキュー講習」「搬送法」の実技指導を行った。その後、参加者で会場を片づけ後、好評のうち無事終了した。

今後も事故防止への取り組みとして、更なる工夫を行いつつ、継続した開催が必要と判断される。



セルフレスキュー訓練



石田先生講習会

## 第6回ワンコイン講習会 報告

女性委員会 中村 美代子（茂原道標山の会）

ワンコイン講習会とは、「いつまでも登山を楽しめる体力を」合言葉に、登山に有効なトレーニング方法、身体のメンテナンス等の講習会です。

全国連盟・遭対部の統計によると、60歳代の女性会員の退会が大変多いことが指摘されています。その原因は身体の故障、特に腰・膝の症状の悪化で登山を続けることが出来ないことが大きな要因であると報告されている。

千葉県連盟・女性委員会は、仲良し山友といつまでも楽しい山行をするために、山筋ゴーゴーの石田先生、マウンティン・ゴリラの安村淳先生など専門家を招いて講習会を実施してきました。

今回は、PTCパーソナルトレーナーの金子先生をむかえて、登山につながる日常のトレーニング、下山後のメンテナンスを学びました。質問にも応えていただきました。参加者は去年の半数でした。これは、・県連行事が連続していた事・宣伝活動がちばニュースに掲載しただけであった等、各会への働きかけが弱かった。

理事会での参加のお願いだけでは、各会の会員までは届かない。半面、女性委員のいる会からの参加者が多いことは、女性委員からの案内、お誘いが有効である。

今回は6回目の実施で、運営に慣れている女性委員の参加が大きな力になっている。

女性委員会は、全国連盟・女性委員会行事への参加など地道な活動を行っています。他県連盟との交流では、千葉の女性委員会は元気印が付いています。また、千葉県連の行事にも積極的参加し、女性委員のハイキングの実施、委員会前のミニ講習会を実施し委員同士の親睦や交流も行っています。

女性委員会は、全会より最低一人の参加、当面は10名以上の委員会が目標です。女性委員会に参加して、おしゃべりから講習会まで楽しくお付き合いしましょう。

### ◆ 女性委員会に参加している会

- ・茂原道標山の会 ・東葛山の会 ・かがりび山の会 ・山の会らんとん
- ・千葉こまくさハイキングクラブ ・ふわくハイキングサークル ・船橋勤労者山の会 ・千葉民医連山を歩こう会



真剣に学びました

## 第29回 房総ロングハイキング

主催 千葉県勤労者山岳連盟ハイキング委員会

日 時 2013年01月26日(土)～01月27日(日) 一泊二日 (当日参加可)

集 合 七里川温泉：沖津屋 26日(土) なるべく 15時20分迄集合

27日(日) 当日参加 6時00分集合

君津市黄和田畑 921-1 電話 0439-39-3211 フリーダイヤル 0120-397428

コース① 七里川温泉脇～石尊山～麻綿原～清澄寺～郷台林道～郷台作業所～柚ノ木歩道下～猪ノ川林道～黒滝～折木沢橋～長崎十字路ゴール 約23キロ 歩行約8時間50分(休憩含む)

コース② 麻綿原より一杯水分岐～硯石コース～安房天津駅(下見の上決定) 約7時間

募集人員 60名位

費 用 6,000円(一泊二食と弁当、移動) 当日参加 1,000円(弁当、移動、)

締 切 12月10日(月) 各会責任者へ申し込む

直接電車で参加の方 (千葉発 12:39)

電車時刻(往) JR久留里線 木更津発 13:39 上総亀山着 14:42

々 15:36 々 16:40

上記着の時刻に合わせて送迎車が出ます。

自家用車：直接七里川温泉に来て下さい。スペース 10台位(出来れば JR でお願いします)

行動予定 (②コースの場合は時間変更あり)

01月26日(土) 15:30～ 受付開始

17:30～ 挨拶、特別講演、ガイドンス(日程、コース説明)

18:30～ 夕食、交流会後就眠

01月27日(日) 5:00 起床、掃除、支度

5:30 朝食(弁当を受け取る)(食事は自由)

6:00 ロングハイク出発 (当日参加者は時間厳守)

14:50 長崎十字路ゴール後 亀山駅、駐車場に車で送ります。

電車時刻(復) 上総亀山発 16:01 木更津駅着 17:05

々 16:56 々 18:06

々 17:52 々 18:59

安房天津駅 17:03 千葉駅 着 18:46 (②コースの場合)

尚、東葛地区(東葛、松戸、柏、我孫子)はバス利用して、下記の如く前日に山行してから集合地(七里川温泉)に行く事にしました。10,000円(バス代、1泊2食 弁当、)

一日目 バス 松戸 6:30 発=我孫子駅=鎌ヶ谷区役所 8:00 発(人数により変更あり)

山 行 富楽里道の駅=伊予ヶ岳登山口=山頂=平群神社(雨天：とみやま水仙ロード)

二日目 合同山行

申し込み問合せ連絡先 ふわくハイキングサークル 実行委員長 中原 紀代治

(TEL/FAX 0475-34-4757)

## 第12回房総郡界尾根縦走案内 (房総丘陵の景観を楽しむロングコース)

平成24年11月吉日

冬は房総の深山を歩く最高の季節です。照葉樹から針葉樹の林まで育つ房総丘陵は暖かく豊かな自然を見せてくれます。郡界の稜線から深い森と太平洋の大海原が眺められます。安房と上総をつなぐ史跡が残る房総郡界尾根(約60km)を3日間かけて歩きましょう。

### 記

- ・日程 平成25年1月12日(土)～14日(月・休日)
- ・集合場所 浜金谷駅前  
(千葉駅 JR内房線 6:57 発館山行に乗車して浜金谷駅下車、県外の方は別紙参照願います。)
- ・集合時間 8時25分(時間厳守)
- ・コース

12日 金谷(8:50 スタート) → 鋸山 → 嵯峨山 → 山中(テント泊)

13日 山中(8:00) → 木ノ根峠 → 横尾林道 → 尚武山 → 柚ノ木林道 → 小町峰峠 → 鴨川(テント泊)

14日 鴨川(8:00) → 元清澄山 → 郷台林道 → 清澄(15:00 頃ゴール)

(清澄からは自費にてバス又はタクシーで安房天津駅へ → 18:10 頃千葉駅)

- ・参加費 6,500円(事務費、スタート費等、食材費(12日夕、13日朝・昼・夕、14日朝・昼として3,000円含む))
- ・装備等 雨具、防寒衣、食料(12日昼と3日間の行動食)、手袋、笛、着替え、帽子、水筒(ペットボトル可)、コッヘル(お椀2コ可)、カップ、箸、ヘッドライト、洗面具、エアーマット、シュラフ、銀マット、地図、常備薬、嗜好品等
- ・募集人数 30名
- ・留意事項
  - ・参加は1日でも可(但し車にての参加に限る)
  - ・参加者は必ず所属会に登山届を出して許可を得てください。
  - ・テント、鍋、ランタン等の共同装備の提供をお願いします。
  - ・縦走途中で水の補給はありません(スタート時と山中では補給可)のでペットボトル1.5リットル程度準備願います。最終日は有料にて手配できます。
  - ・ロングなので、参加者は日頃からトレーニングを続けて参加してください。
- ・申込締切 12月15日迄 所属会名・住所・tel・緊急連絡先・協力できる共同装備等を記入して、往復はがきまたはメールにて相馬へ  
往復はがきの場合 〒299-0261 袖ヶ浦市福王台3-3-17 相馬行雄  
メールの場合 [sumire\\_no34@jcom.home.ne.jp](mailto:sumire_no34@jcom.home.ne.jp)
- ・その他 地図 2万5千分の1 {保田・金束・鴨川・坂畑・上総中野・安房小湊}

コース位置図



以上

(企画者：ふわくHC 相馬行雄)

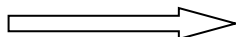
- ◆ 千葉県連盟は「房総郡界尾根縦走」を応援しています。  
参加者希望者は、必ず「ふわくHC・相馬行雄」まで連絡し、確認をして下さい。



# 県連たより

## 県連盟連絡先

- ◎ 千葉県勤労者山岳連盟事務所  
〒262-0033  
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18  
レジデンス幕張台 101 号室  
TEL・FAX: 043-306-1190  
Eメール: [rousanchiba@grape.plala.or.jp](mailto:rousanchiba@grape.plala.or.jp)  
JR総武線幕張本郷下車、海側 徒歩5分
- ◎ 千葉県連ホームページ  
<http://www.cwaf.jp>
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先  
[newstoukou@cwaf.jp](mailto:newstoukou@cwaf.jp)
- ◎ 事故一報送付先  
教遭委員長・岡田 賢一  
[ken-ichi@f4.dion.ne.jp](mailto:ken-ichi@f4.dion.ne.jp)  
Fax: 043-271-4704  
事故一報は、全国連盟事務局にも必ず送付の事。
- ◎ 連盟費振込み先  
郵便振替口座 00160-3-481509  
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 東日本大震災・支援金振込み先  
口座番号: ゆうちょ銀行  
00130-7-595190  
加入者名 佐藤 勝子  
〒272-0023  
市川市南八幡 1-25-16
- ☆ 事務局のお手伝いを募集中  
事務所の片付け・資料の整理など  
一人でもお友達と一緒にでも大歓迎です。  
連絡は: 広木までお願いします。



## NPO法人「ちば労山ゆう」

- ◎ 県連ホームページに  
「ちば労ゆう」入会は、ホームページからも入会出来ます。
  - ・入会申し込みは  
<http://www.cwaf.jp/contact/10-2/>
  - ・「ちば労山ゆう」への問合せは  
<http://www.cwaf.jp/contact/09-3/>
  - ・NPO 支援活動日  
12月15日16日
- ・入会情報(11月末)

|       |      |
|-------|------|
| 正会員数  | 86名  |
| 賛助会員数 | 101名 |
| 合計    | 187名 |

県連会員数の、約24%です。  
今年度中に、50%の加入を・・・
- ・入会をお待ちしています。  
労山会員以外の方を歓迎します。友人、知人を紹介して下さい。

☆☆☆ お知らせ ☆☆☆

県連盟総会が2年に1回になりました。2012年度の県連総会は実施しません。2013年3月に予定しています。  
会計は、1年ごとです。  
次回の総会は、2013年3月を予定しています。

Eメールアドレス  
[danphirp@zpoat.plala.or.jp](mailto:danphirp@zpoat.plala.or.jp)

# 千葉県連予定表

| 12月 |   |          | 1月 |   |       |
|-----|---|----------|----|---|-------|
| 1   | 土 |          | 1  | 火 |       |
| 2   | 日 |          | 2  | 水 |       |
| 3   | 月 |          | 3  | 木 |       |
| 4   | 火 | 県連役員会    | 4  | 金 |       |
| 5   | 水 |          | 5  | 土 |       |
| 6   | 木 |          | 6  | 日 |       |
| 7   | 金 |          | 7  | 月 |       |
| 8   | 土 |          | 8  | 火 | 県連役員会 |
| 9   | 日 |          | 9  | 水 |       |
| 10  | 月 |          | 10 | 木 |       |
| 11  | 火 |          | 11 | 金 |       |
| 12  | 水 |          | 12 | 土 |       |
| 13  | 木 |          | 13 | 日 |       |
| 14  | 金 |          | 14 | 月 |       |
| 15  | 土 | NPO・支援活動 | 15 | 火 |       |
| 16  | 日 | 〃        | 16 | 水 |       |
| 17  | 月 | 救助隊定例会   | 17 | 木 |       |
| 18  | 火 |          | 18 | 金 |       |
| 19  | 水 |          | 19 | 土 |       |
| 20  | 木 | 県連理事会    | 20 | 日 |       |
| 21  | 金 |          | 21 | 月 |       |
| 22  | 土 |          | 22 | 火 |       |
| 23  | 日 |          | 23 | 水 |       |
| 24  | 月 |          | 24 | 木 |       |
| 25  | 火 |          | 25 | 金 |       |
| 26  | 水 |          | 26 | 土 |       |
| 27  | 木 |          | 27 | 日 |       |
| 28  | 金 |          | 28 | 月 |       |
| 29  | 土 |          | 29 | 火 |       |
| 30  | 日 |          | 30 | 水 |       |
|     |   |          | 31 | 木 |       |

発行者 千葉県勤労者山岳連盟

〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷1-29-18

レジデンス幕張台 101号室

発行責任者 吉田 哲治 編集責任者 広木 国昭

TEL・FAX 043-306-1190(事務所には常駐者はいません)

Eメール rousanchiba@grapa.or.jp

問い合わせ 千葉県勤労者山岳連盟ホームページ 事務局への問い合わせ